

## 「第3次美濃加茂市教育振興基本計画（案）」に関する 意見募集（パブリックコメント）結果

### 1. 目的

美濃加茂市は、「教育資源に富み、人と人々が共に支え合う美濃加茂で、関係機関・団体等が有機的に連携し、誕生から高等学校卒業までの一連の過程の中で、発達の段階に応じた切れ目のない教育を推進していこう」という基本理念のもと、教育の振興に取り組んできました。

今回、第2次基本計画期間の満了に伴い、本市における教育のより一層の振興を図るための指針として、新たに「第3次美濃加茂市教育振興基本計画（案）」をまとめ、市民の皆様のご意見（パブリックコメント）を募集しました。

### 2. 実施期間

令和7年1月6日（月）～31日（金）

### 3. 周知方法

- (1) 広報みのかも1月号に『第3次美濃加茂市教育振興基本計画（案）について皆様のご意見を募集します』と題し、パブリックコメントの実施について掲載。
- (2) 美濃加茂市ホームページに『「第3次美濃加茂市教育振興基本計画（案）」に関するパブリックコメント（意見募集）の実施について』と題し、パブリックコメントの実施について掲載。
- (3) 美濃加茂市教育委員会学校教育課にて「第3次美濃加茂市教育振興基本計画（案）」の閲覧を実施。

### 4. 意見の提出

- \* 意見提出者数 1人
- \* 意見提出件数 5件

### 5. 提出された意見と市の考え方意見内容

意見内容	<p>第2次美濃加茂市教育振興基本計画に基づき、積み上げられた取組によって、美濃加茂の子どもたちは、のびのび健やかに成長していること、うれしく思います。「第3次美濃加茂市教育振興基本計画」(案)は、国、県の方針、最新の教育動向、美濃加茂市のこれまでの取組、子どもたちの現状、学校・家庭・地域の実態等、様々な面から調査、分析され、今後5年間の方向を具体的な施策とともに示されており、FROM-0歳プランの基本理念がいかされた内容になっていると感じました。</p> <p>①P3めざす人間像</p> <p>「めざす人間像」の文言は、子どもたちが、主体的に自らの幸せな未来</p>
------	---

を創り出していくといった将来に期待感を抱いて（胸を膨らませて）、たくましく突き進んでいく子どもたちの姿をイメージできるもので、よいと感じます。

②P 3 めざす人間像 【自立力】と【共生力】を…。今の創造にのびのびとチャレンジしていく…生きがいを与え、…

細かいことになりますが、「幸せな今の創造にのびのびとチャレンジしていく」という文言について、「挑戦力」を強調するためであるのだろうと思いましたが、少し気になりました。「…を發揮しながら、のびのびとチャレンジし幸せな今を創造していく…。」また、「生きがいを与え」という文言は、主語が子どもであるなら、「与え」を他の言葉で表現してもよいかと思いました。「育み」とか…。

③P 4 (2) 資質・能力 4 施策体系

美濃加茂市が願う「めざす人間像」の実現のために、子どもたちに身に付けてほしい「資質・能力」として3つの力を明確にし、3つの基本目標からなる施策体系も、子どもが思い描く未来を創造する過程に大いに寄り添い、支える視点で具体的な施策が挙げられており、共感できるものになっています。「育む・引き出す・支える」のキーワードも、シンプルで理解しやすい。

④P 9 現状○体験活動はひとつづくりの原点であり…非常に重要です。

P 9 施策実施指標「みのかも文化の森」現況値 71.6%、目標値 65%となっているが…。

「体験活動はひとつづくりの原点」の文言は、大変共感できます。これまでも、自然・科学技術のふしぎに触れる体験活動等ができる環境づくりに力を入れていただきありがたかったです。今後も、さらに多くの子どもたちに、さまざまな体験活動の機会が与えられることを、期待します。

⑤P 3 7 取組の方向性 ●小規模特認校制度を実施する学校の教育活動の充実

少子化・人口減少社会が進む中で、今後、ますます小規模校の在り方が課題となると思います。小規模の学校となっても子ども、家庭、地域のニーズに応えられるような教育活動を展開しなければなりませんし、小規模校のメリットを最大限に生かせるような具体的な方策を考えることが大切です。また、小規模特認校については、これまで以上に、特性をいかした特色ある教育活動が実施できるよう、また、施設整備（あい愛バスの運行時間、空き教室の整備、学童の在り方…）等、さらなる支援を進めていただけることを期待します。地域にある教育資源（ひと・もの・こと）を大切にしながら、学校・家庭・地域が連携できる教育環境づくりにご支援いただけるとありがたいです。

ご意見に対する 市の考え方	<p>今回の計画案について、共感や期待のご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>①ご意見のとおり、子どもたちの挑戦していく姿に焦点を当てて「めざす人間像」として掲げました。</p> <p>②「幸せな今の創造にのびのびとチャレンジしていく」という言葉は、「めざす人間像」になぞらえ、子どもたちが「自立力」「共生力」を発揮して「挑戦」する、能動的に「今」にチャレンジしていく姿に視点を置いて記載しました。そうした「今」の創造を続けることが幸せな未来へとつながるといふ願いを込めています。こうした願いに重ねて、「与え」という表現には、「幸せな今の創造にのびのびとチャレンジしていく」子どもたちの振る舞いの「連続と蓄積」を主語とし、そうした行動によって「生きがい」が与えられる、という思いを含めました。</p> <p>③共感と理解のご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>④『施策実施指標「みのかも文化の森」現況値 71.6%、目標値 65%』 みのかも文化の森では、博学連携を活動理念の一つとして、「本物」と出会う体験活動を子どもたちに提供することを大切にしています。</p> <p>利用日数の割合は、休館日、土・日・祝日・春夏秋冬休み、始業式等の行事日を除いた日数を「活動可能日数」（例年 155 日程度）として算出しています。文化の森で行う学校活用は、学校ごとの単元の進度や取り組み、子どもたちの習熟度などの実態に合わせた活動内容となるように、学校と相談し合いながら進めています。このため、年間に 100 日程度（約 65%）の活動日が計画されることが例年の傾向です。子どもたちの受け入れが無い日には、教材研究や資料の準備に充て、より良い授業内容となるよう努めます。</p> <p>また、市内小中学校の他に、保育園・幼稚園や市外の学校からの受入の希望がある場合は、活動日数が増えることもあります。</p> <p>みのかも文化の森は、今後も引き続き、充実した体験活動を学校と共に作り出していきたいと考えています。</p> <p>⑤ご指摘の通り、小規模特認校の特性をいかすためには、家庭、地域と学校の連携は不可欠です。施設設備の整備も含め、他課と連携しながら、より活用しやすい制度や教育環境を整えていきたいと考えています。</p>
------------------	--